

平成25年度中間報告

平成25年12月

南越前町地域おこし協力隊

荒木 幸子

川村 博俊

これまでの活動実績(荒木)

今庄宿プロジェクト支援

フィールドワーク活動

外部視察・交流活動

情報発信活動

移住促進活動

今庄宿プロジェクト支援(1/2)

◆ 各種会議体参加・検討

各部会に参加し、外部目線での意見・提案、ファシリテート支援を行いました。また、部会の具体的作業(台帳データ化、チラシ案作成)の支援を行いました。

会議体名	出席回数	主な実施内容、発言内容
観光まちなみ推進会議	3回 (全4回)	県、町担当者、住民代表者による報告、意見交換に参加。プロジェクト全体の進捗や部会の雰囲気、まちづくり外部事例等について発言。
全体会	2回 (全3回)	全住民代表者(50余名)によるワークショップでの意見形成に参加。第1回、第2回ともに店舗部会に出席し、個別案の発言、およびファシリテート支援を実施。
住民代表者会議	8回	住民代表者による報告、意見交換の場に参加。プロジェクト全体の進捗や部会の雰囲気、まちづくり外部事例等について発言。
部会		各テーマに関する意見交換に参加。部会提議資料の部会長への提示。
景観部会	5回	他部会連携の提案、景観のルール作りと自由度の確保のバランスに関する意見等。
店舗部会	5回	多機能店舗・多店舗連携の提案、これからの観光形態の在り方等に関する意見等。
歴史部会	8回	歴史情報の見せ方に関する提案、明治・昭和の住民台帳データ化作業等。
誘客部会	4回	誘客部会の役割に関する意見(マーケティング、プロモーション)、体験具体案の提案等。
空き家対策部会	7回	町歩き同行、空家利活用に関する社会動向の提示、情報収集のチラシ案作成等。



どれだけ多くの住民を巻き込めるかがカギ

観光まちなみ推進会議



観光だけでなく暮らしを守ろう!

全体会



空き家・空き地がどんどん増える…

子どもたちが少なくなった…

部会

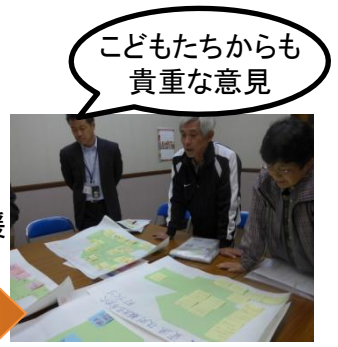
町歩き

今庄宿プロジェクト支援(2/2)

◆ 情報発信、住民活動支援

- 町内へのプロジェクト情報発信や住民意見の収集等を行いました。

活動内容	実施内容	成果
町内イベントにおけるプロジェクトPR		
産業物産フェア展示ブース	<ul style="list-style-type: none"> イベント来場者へのパンフレット配布 展示物紹介 まちづくりに関するヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> 今庄宿プロジェクト知名度向上 地域意見の吸い上げ 他自治体事例の参考
プロジェクトに関わる部会員、住民活動の支援		
空地活用ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 福井大学生製作の空地の模型を利用したワークショップへの参加 ファシリテート支援 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の具体施策発案の促進 住民の気づきの促進
今庄中学校地域学習支援	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりに関する講義の実施 空地活用ワークショップ実施準備および当日の進行支援 校外学習(まちあるき)への同行 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトと学校との関わりづくり プロジェクトへの若年世代からの意見投入 こどもたちを通じた地域へのプロジェクト周知



フィールドワーク活動

◆ 訪問・体験・活動支援による調査活動の様子

今庄を中心に、南条、河野を訪問し、住民の生の声を集めながら、住民との交流を深めました。

イベント



荒木：
手伝いながら
苦労を実感



自然・歴史・ 施設・空き家

もっと使える
空家・空店舗



仕事がないと
若い人は来ない・
出ていく



荒木：
長年のイベントに
新しい要素を



商業・活動施設の
活用が不十分



集落維持に
多大な労力

仕事、住民活動



産業を支える
人手が不足…



情報発信したいけど
やり方がわからない



荒木：
生の情報から
町の実態を掴む



こどもが外に出て
後継者がいない…



皆で集まれば
活動にも張り合い

外部視察・交流活動(1/4)

◆ 研修、交流参加

地域おこし協力隊の研修および交流に参加し、自治体間協力隊の横の繋がりによる連携強化を図りました。

活動内容	訪問先	成果
講演、セミナー参加		
地域おこし協力隊合同研修参加	・滋賀県(初任者向け地域おこし協力隊及び集落支援員を対象とした研修会)	<ul style="list-style-type: none"> ・協力隊活動に関する学習および事例の収集 ・他自治体協力隊員との関係構築
越前町地域おこし協力隊研修実施	※南越前町内で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接自治体越前町との連携強化
富山県南砺市地域おこし協力隊訪問	・富山県南砺市	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸地方の協力隊連携体制づくり ・類似地域事例の収集(五箇山茅葺建築)
県内・北陸地域おこし協力隊報告会	・福井県福井市	<ul style="list-style-type: none"> ・福井県内および北陸自治体の事例共有 ・他自治体協力隊員との関係構築



地方同士で連携しよう!

全国地域おこし協力隊研修会



他自治体との課題共有・比較

越前町地域おこし協力隊研修

外部視察・交流活動(2/4)

◆ 講演、セミナー参加

まちづくりや地方移住、地域の仕事に関するイベントに参加し、参考事例を収集しながら関係者との交流を深めました。

活動内容	訪問先	成果
講演、セミナー参加		
まちづくりに関するセミナー出席	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市(まちづくりセミナー) ・勝山市(SATOYAMA国際会議) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関する学習および事例の収集
UIターン、地方ビジネスに関するイベント参加	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府京都市(CRASSROOM Vol.4) ・東京都新宿区(ふるさと回帰セミナー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会動向の収集 ・来訪・移住候補者との関係構築
地域の仕事に関するイベント参加	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖江市(狩猟まりわかりフォーラム) 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の生業実態に関する情報収集 ・社会動向の把握

デザイン・IT等
経験・技術を
活かしたい

住民自身の
やる気がカギ

地方に新たな
活躍の場が！

既存資源を
活用しよう！

仕事がないと
UIターンは難しい

注目され始めた
地方の生業



SATOYAMA国際会議



ふるさと回帰セミナー
山崎亮氏講演

ふるさと回帰セミナー
交流会



CLASS ROOM Vol. 4
地域活性化ビジネス



狩猟まるわかり
フォーラム

外部視察・交流活動(3/4)

◆ まちづくり事例視察

今庄宿の類似地域、まちづくりに関するイベント、特産品(そば粉)利用の店舗、まちづくり組織等を訪問し、町内におけるまちづくり活動の推進の参考になる情報を収集しました。

活動内容	訪問先	成果
まちづくり事例視察		
旧宿場町訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・若狭町(熊川宿) ・滋賀県高島市(朽木宿) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿場町におけるまちづくり事例の収集
特産品販売・提供 店舗訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各店舗(そば粉利用) ・京都府京都市(そばガレット) 	<ul style="list-style-type: none"> ・そば粉利用方法の参考事例の収集 ・関係者との関係構築
地域イベント訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・美浜町(ジビエイベント、米作り体験イベント) ・滋賀県高島市(手仕事アトリエ回遊イベント) ・越前町(ものづくり販売・体験イベント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催手法、テーマの参考 ・各種体験による産業の実態の把握 ・主催者、参加者との関係構築
まちづくり組織訪問	<ul style="list-style-type: none"> ・福井市(きちづくり福井会社、ふく+) ・静岡県浜松市(市民協働センター) ・徳島県神山町(NPO法人グリーンバレー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり組織検討の参考事例の収集 ・主催者との関係構築

田舎には自然や手仕事の魅力



高島市アトリエイベント

福井市イタリアン(そば粉のニョッキ)



素材1つとっても様々な活用が!

京都市ガレット専門店



閑散とした熊川宿

人の繋がりがまちをつくる!



朽木宿カフェ 地元住民の憩いの場

住民を応援する仕掛けが必要



福井市まちづくりセンターふく+

都市の仕事に移住者に持ち込んでもらう



NPO法人グリーンバレー

外部視察・交流活動(4/4)

◆ 古民家再生利活用事例視察

古民家や空家の改修を行うワークショップや、すでに改修・活用されている事例の訪問、空き家を活用するためのマッチング事業等に参加し、町内の空き家対策の参考となる情報を収集しました。

活動内容	訪問先	成果
古民家再生利活用事例視察		
DIYイベント参加	<ul style="list-style-type: none"> 神奈川県横浜市綱島(古民家解体ワークショップ) 東京都檜原村(ゲストハウスづくり) 和歌山県新宮市熊野川(床張りワークショップ) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会動向の収集 イベント開催手法の参考 DIY技能(床張り、壁張り)の習得 主催者、参加者との関係構築
古民家リノベーション店舗訪問	<ul style="list-style-type: none"> 越前市(カフェ) 鯖江市(カフェ、ゲストハウス) 京都府京都市(カフェ、ゲストハウス等) 滋賀県高島市(カフェ) 他 	<ul style="list-style-type: none"> 古民家活用事例の収集 関係者との関係構築
空き家利活用イベント参加	<ul style="list-style-type: none"> 美浜町(空き家片付けボランティア、空き家バスツアー) 越前町(空き家活用ワークショップ) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会動向の収集 イベント開催手法の参考



情報発信活動

◆ 情報発信活動

協力隊活動や町内の魅力・まちづくりに関する情報を、複数の手法で、町内外に向けて発信しました。

活動内容	内容	成果・課題
インターネットを利用した情報発信		
めちぜん通信(ブログ)	業務、イベント参加に関する報告記事の掲載	成果:活動の考察を掲載することで、協力隊自身の活動振り返りになった 課題:閲覧者が少ない、閲覧者の反応が見えづらい
必殺仕事人・凄腕仕掛人 (facebook)	まちづくりに寄与する個人の紹介	成果:取材を通してまちづくり活動者の発掘と交流ができた 課題:紹介数に限りがある
町の魅力投稿 (facebook)	町内の時事や資源の紹介	成果:町の魅力を町内外にPRできた 課題:地域に偏りがある、情報の精度の確認が必要
紙媒体を利用した情報発信		
めちぜんかわらばん	ブログ掲載内容と同様	成果:かわらばん配布による配布先(町関連施設、学校等)との顔合わせができた 課題:配布数が極めて少ない(残数回収により判明)⇒現在中断
広報誌連載	協力隊方針、町の魅力、活動状況に関する記事の掲載	成果:住民の協力隊認知度が上がった 課題:協力隊の業務範囲を知りたいがわからない(住民からの意見)
マスメディアを利用した情報発信		
福井テレビ討論番組出演	福井テレビ「座・タイムリーふくい」への出演	成果:福井テレビ関係者および共演者との関係構築、県内協力隊活動PRによる住民の関心上 課題:町内・町外情報発信の順序やバランスについて要検討

情報発信を効率的・効果的に

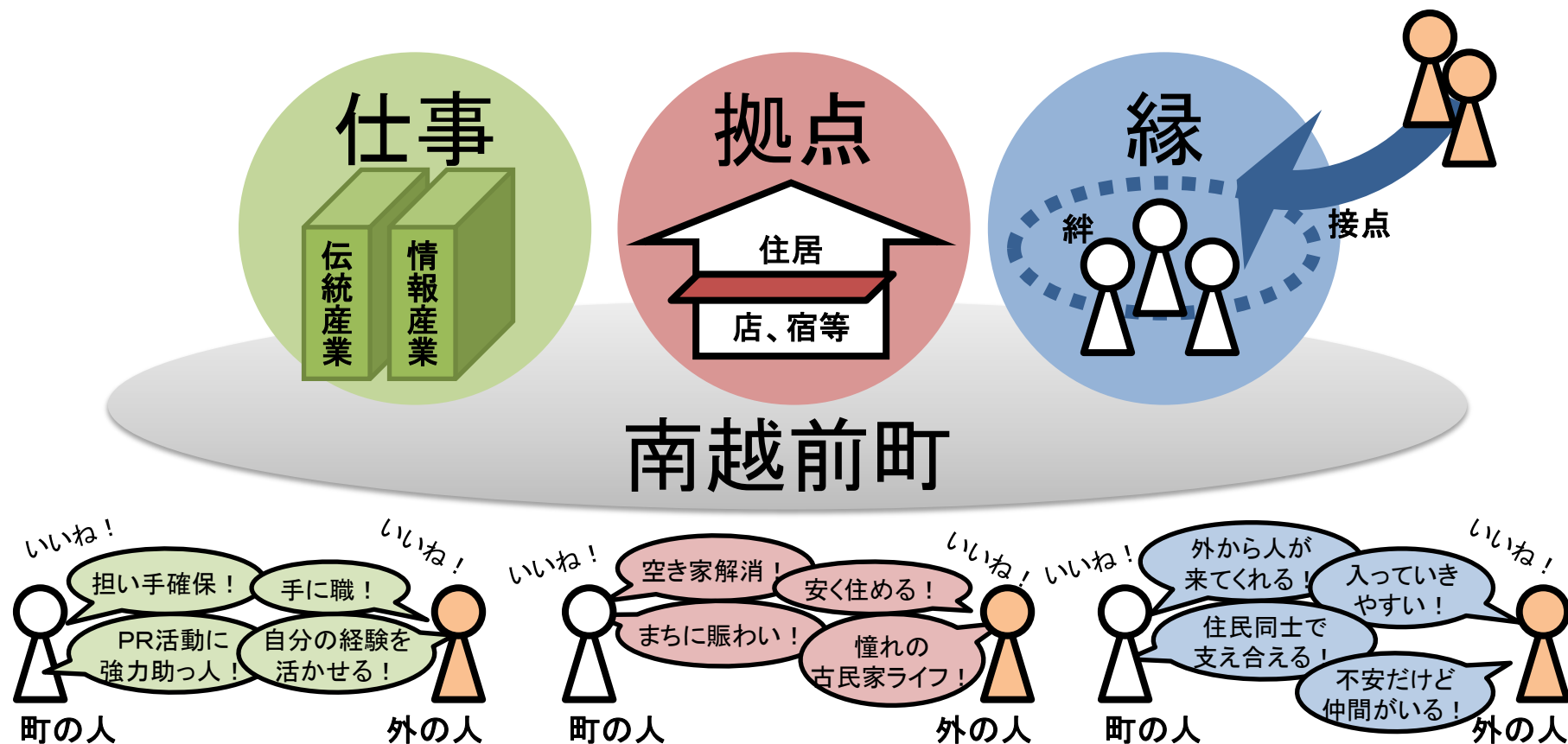
住民自身による情報発信強化が必要

住民が知りたい・興味をそそられる内容・見せ方

移住促進活動：概要

◆暮らしを守る3つの要素

- 課題を整理すると、外から移住者がやってきたり、すでに住んでいる住民が外に出て行ってしまわず暮らし続けるために3つの要素を確保する必要があるようです。



外部からの移住を増やし、外部への流出を減らすことで
人が居続ける町をつくる

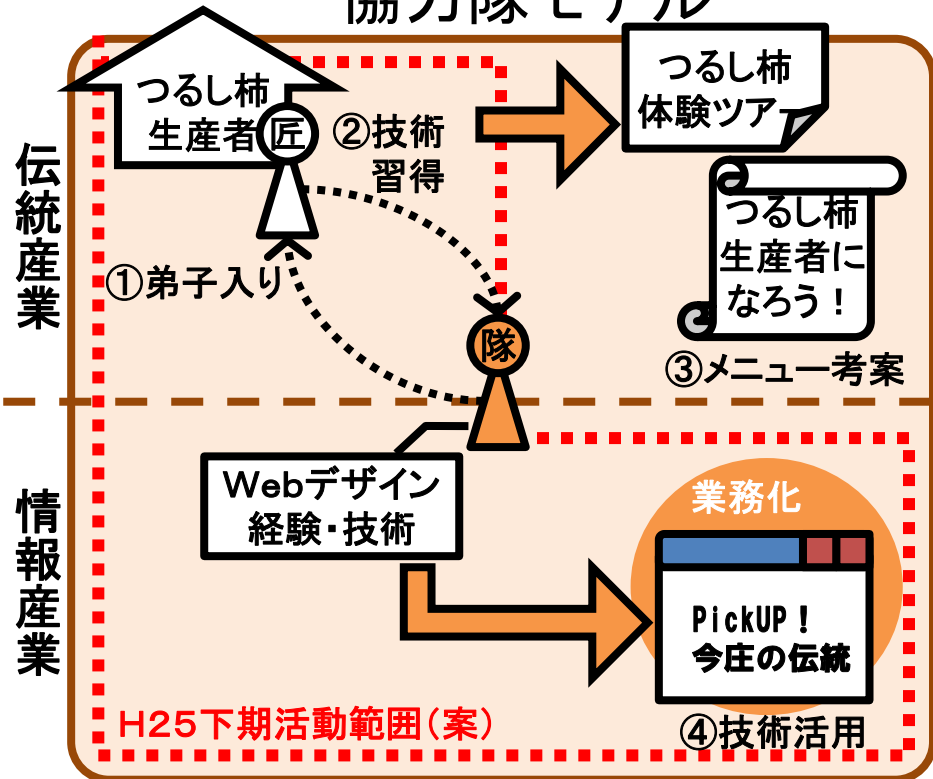


移住促進活動：仕事づくり

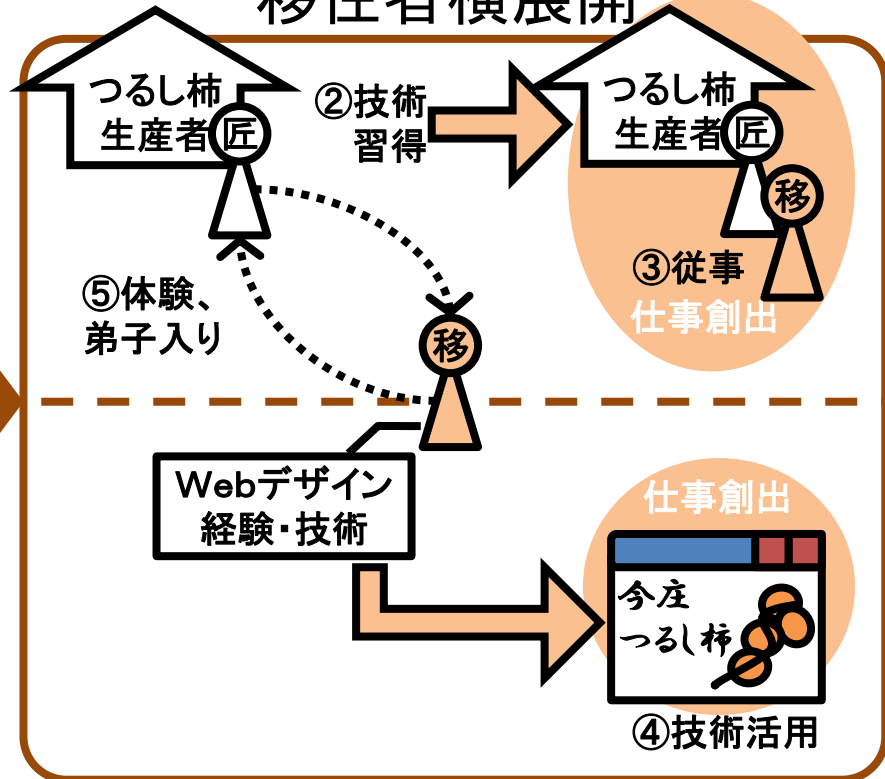
◆ 移住者の仕事を確保する

町に根差す伝統産業、新しい情報戦略の2本立てで、協力隊をモデルとして移住者や既存住民が町内で生計を立てていく方法を検証・確立します。

協力隊モデル



移住者横展開



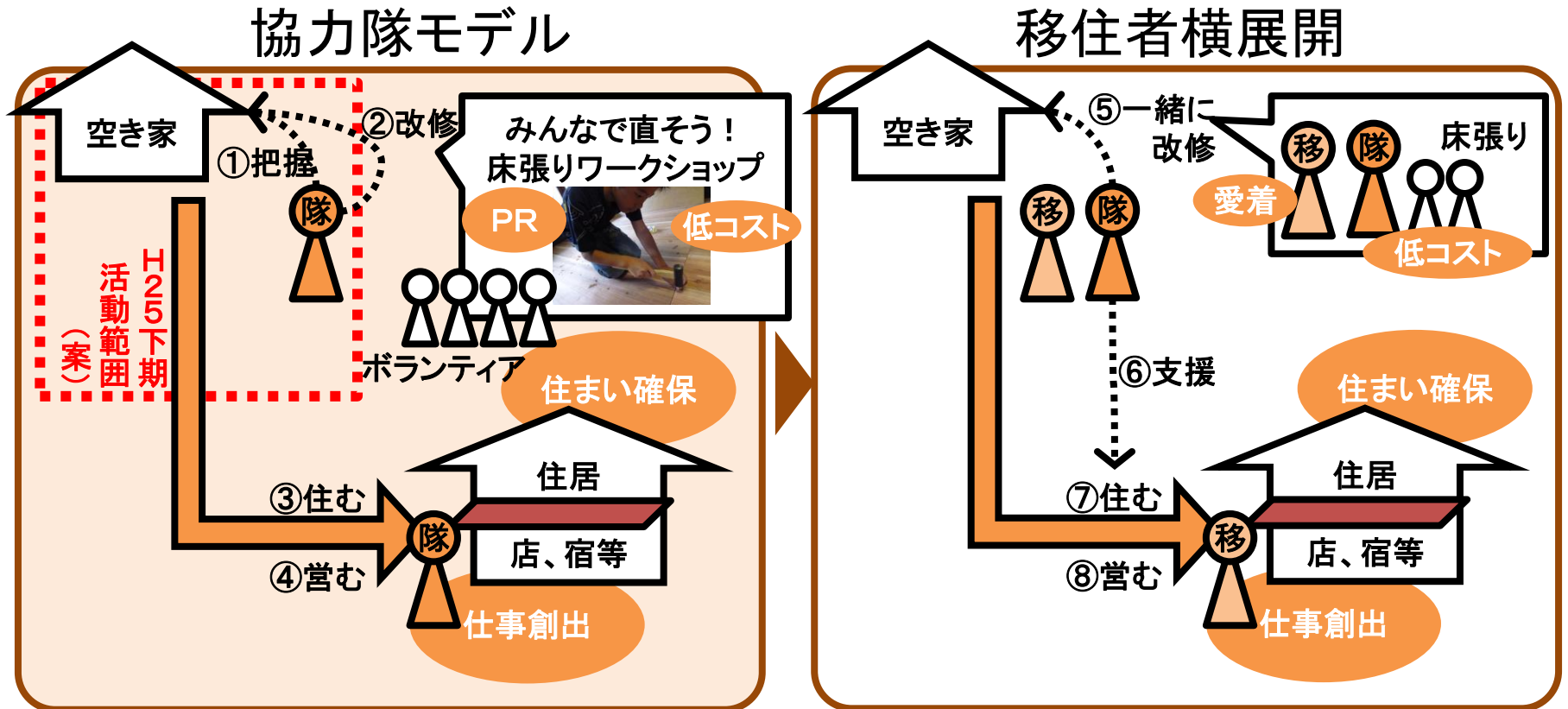
町の伝統 × 都市の技術、ハイブリッドで仕事をつくる！



移住促進活動：拠点づくり

◆ 移住者の住まいを確保する

町内の空き家を活用し、協力隊をモデルとして移住者が「お金をかけず」「楽しく」住まいを確保する手法を検証・確立します。



空き家を直して、安く・楽しく住まいをつくる！ ついでに仕事もつくる

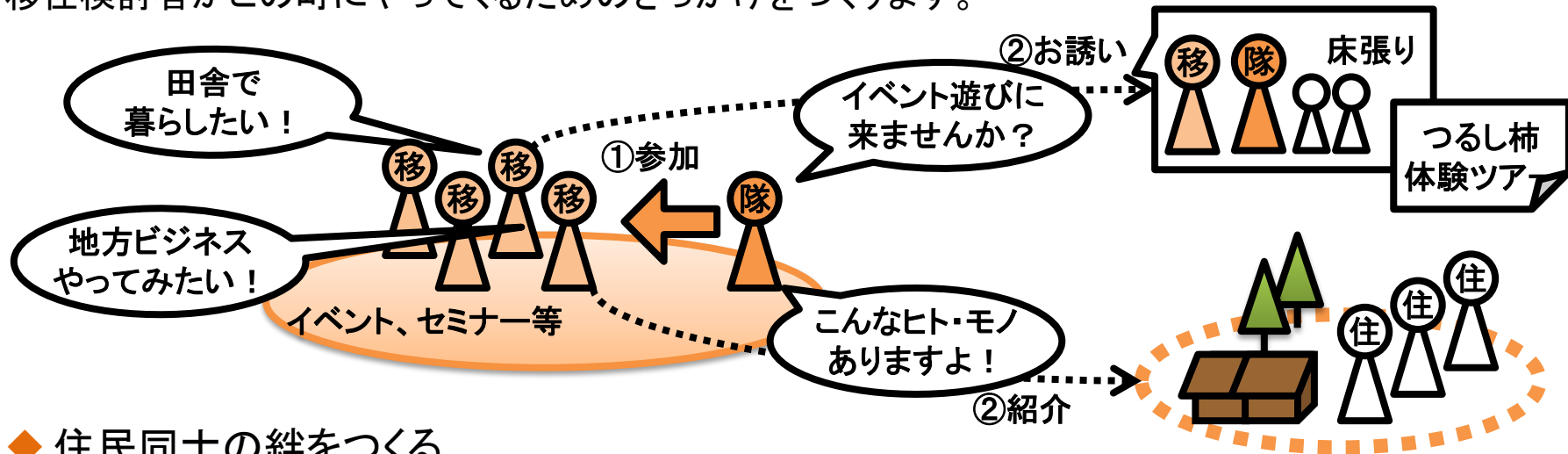
移住促進活動：縁づくり

※現在、公務外活動として小規模で各取り組み展開中。
25年度下期以降、一部公務化・各取り組み強化を提案。



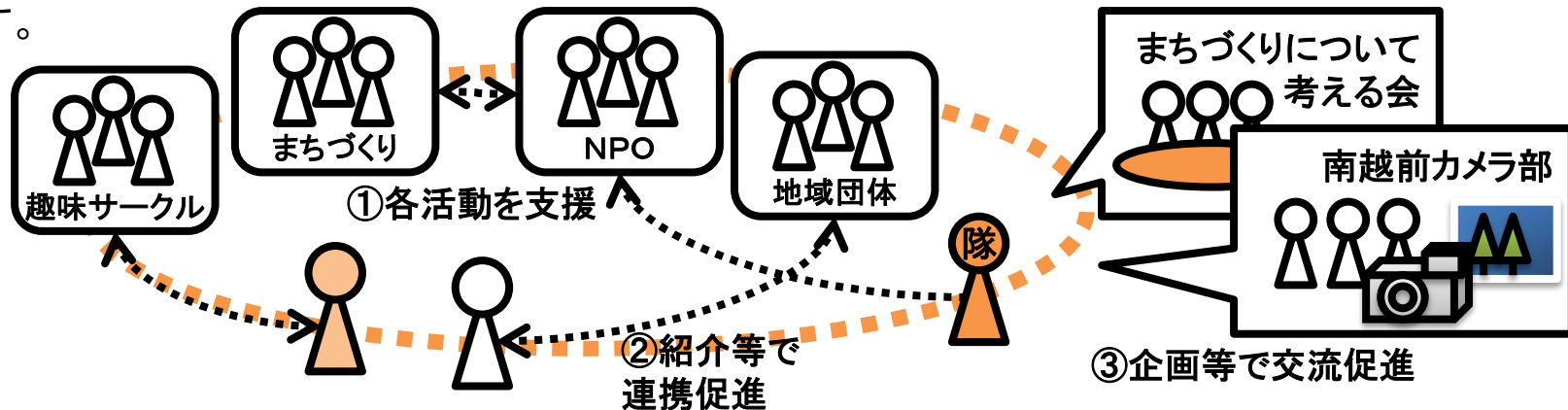
◆ 移住者との接点をつくる

移住検討者がこの町にやってくるためのきっかけをつくります。



◆ 住民同士の絆をつくる

やってきた移住者や今住んでいる住民同士がお互い支え合い、この町に居続けたいと思えるような絆をつくります。



人と人との繋がりが「他の何処でもない」南越前をつくる！

移住促進活動(1/3)

◆ 協力隊自身が動く取り組み

移住促進を目的とし、イベントを開催し、住民活動や地域産業に参画しました。

活動内容	協力隊実施内容	成果
協力隊自身が動く取り組み		
今庄床張りワークショップ(若狭屋改修)	今庄若狭屋での工業高校学生の実習に合わせ、協力隊荒木がfacebookを通じて呼びかけ、床張り(DIY)の体験希望者を一般ボランティアとして募集。	<ul style="list-style-type: none"> 協力隊のDIY技術の向上 協力隊の一般参加者へのDIY指導の試行 外部者イベント参加の実現およびリピータ候補獲得 参加者からのまちづくりに関する助言収集
クラフト体験・販売ブース出展(街道浪漫今庄宿)	今庄宿プロジェクトにおける「住民が25年度自主的に取り組む活動」として、会土井沿いの店先と倉庫を利用し、革細工の体験・販売ブースを企画、出店。商品準備、模擬店設置に協力。	<ul style="list-style-type: none"> 協力隊の革細工技術の向上 宿内住民およびイベント参加者への空き家・空き地活用イメージの提示 住民の自主的活動の試行
つるし柿生産・活用研究	今庄の伝統産業であるつるし柿の加工作業を一通り体験し、加工途中品および製品の活用方法を模索。	<ul style="list-style-type: none"> 協力隊のつるし柿加工技術の習得 観光客・移住者等の参入可否の確認 施設管理者、生産者への協力要請



ワークショップで町への愛着



活動創出には場の確保が必須

つるし柿づくり

仕事



移住者の「古くて新しい」仕事づくり



今庄床張りワークショップ

拠点



まちづくりの役に立ちたい

拠点

仕事

クラフト体験・販売ブース出展

移住促進活動(2/3)

◆ 町内を繋ぐ取り組み

移住促進を目的とし、町内資源や団体・個人の連携構築に取り組みました。

活動内容	協力隊実施内容	成果
町内を繋ぐ取り組み		
町内食材コラボレーション	町内の食材を使った料理や食べ合わせのアイデアを検討。	<ul style="list-style-type: none"> 生産者へのフィードバックによる資源価値見直し促進 町内資源の魅力再発見
南越前まちづくりネットワーク(仮)構築(facebook)	協力隊活動を通じて知り合った町外まちづくり関係者や町内まちづくり活動者を、facebook上のグループで繋ぎ情報共有を実施。町内まちづくりに関するイベントやワークショップ実施に向けた個人レベルの連携を構築。	<ul style="list-style-type: none"> 協力隊へのまちづくり関係者・まちづくり活動者からの助言収集 交流・情報共有によるまちづくり活動者の知識・意識向上



規格外野菜の有効活用

既存素材の組み合わせでバリエーション拡大



町内食材コラボレーション

町内の技術・英知を結集

町内連携支援

仕事 縁

南越前まちづくりネットワーク(仮)

意外に知らない町内の人・活動

移住促進活動(3/3)

◆ 町内と町外を繋ぐ取り組み

移住促進を目的とし、町外との団体・個人との連携強化を図りました。

活動内容	協力隊実施内容	成果
町内と町外を繋ぐ取り組み		
京都ナリワイ会議	仕事づくり(ナリワイ)に関心のある京都周辺都市部在住者の交流会の実施。参加者への町資源、協力隊としてのまちづくり活動のPR。	<ul style="list-style-type: none"> • 地方移住見込み者への町PR • 参加候補者への床張りワークショップ参加呼びかけ • 近隣都市部在住者との関係構築 • 協力隊のイベント立ち上げ手法学習
南越前-東京キャラバンプロジェクト	南越前の農産物・加工品を東京都内の飲食店・知人にお土産として贈答、調理・アレンジを依頼。	<ul style="list-style-type: none"> • 町内資源のPRおよび活用可能性の発見 • 生産者へのフィードバックによる資源価値見直し促進
ヘリテージマネージャー養成講座同行	今庄で実施された建築士の研究会に同行し、町の建築や文化の案内、おもてなしを実施	<ul style="list-style-type: none"> • 県内建築士との関係構築 • 今後の今庄宿における建築関連施策への協力要請



私にとっての今庄 移住者としての所感

◆ 今庄の第一印象:トンネルを抜けると「所謂」田舎

私が初めて今庄を目にしたのは今年1月1日、元日から東京を出発し、北陸～中部を鈍行電車で旅した時のことです。南越前町に入る手前、拓けてはいるものの既にシャッター通りと化していた敦賀から、北陸本線に乗ってトンネルを抜けるとそこは本当に雪国でした。コンビニもなにもない無人駅南今庄で、雪を被った山と田んぼを眺めながら「田舎の人たちはどうやって暮らしてるんだろう」と心細く感じました。

◆ 今庄の第二印象:町の人との出会い

実際に町に足を踏み入れたのはその翌月、協力隊採用の面接選考に訪れたときでした。町屋の建築が情緒ある、ただしやはり人のいない今庄の街道を歩いて若狭屋の扉をくぐると、NPOの皆さんがストーブを囲んで暖をとっていました。町の人々の思いや営みを聞き、私もここに来た経緯や考えを話し、「面接頑張れ」「春から一緒に頑張ろう」と力強く背中を押されて若狭屋を後にしました。そのとき初めて「今庄」は私にとって、他の田舎とは違った「特別な」町になったのです。

その後4月から活動を始め、更にたくさんの町の人に出会いました。故郷のない私には、ここほどたくさんの人の顔を知っている町は他にありません。



◆ 「特別」な町になること



情報社会の現代、自然や町並み、文化といった地方にあるモノの良さは、クチコミや写真、動画等でいくらでも出回っています。都市の人間からすれば、あらゆる田舎が同じような魅力で満ちています。たくさんの田舎の中で、単純な「モノの良さ」を競争するだけでは、誰かにとっての「特別」にはなれないのです。

それよりも、私にとって今庄が「特別」になったように、モノがあったとしてもその傍らやその先に人の顔が見えること、あるいは自分の顔を見てくれる人がいることが、町を「特別」にするのではないかと思います。

この町が私だけでなく、私の友人にとっても「特別」な町になり、地域内外の素晴らしい人たちが繋がっていったら、面白いことがあるのでは、と考えています。

これまでの活動実績(川村)

- ①ふるさと創造プロジェクト素案策定状況
- ②新観光ルート策定
- ③情報発信活動
- ④町内イベント参加
- ⑤その他個人活動等
- ⑥南越前町での9か月間を振り返って...

①ふるさと創造プロジェクト素案策定(1/2)

◆南越前町「北前船歴史空間再生プロジェクト」立ち上げに係る支援

県主管の事業「ふるさと創造プロジェクト」の南越前町における素案策定のための作業、並びに関係者へのヒアリング等を行うことによって、プロジェクト立ち上げの支援を行いました。

活動名	活動内容	活動成果・現況など
素案書作成	<ul style="list-style-type: none">概要書や概算事業費表、個票などプロジェクト推進に必要な各書類の作成	<ul style="list-style-type: none">既に書類一式は県側へ提出済み
地元関係者ヒアリング	<ul style="list-style-type: none">プロジェクト展開地域において、主に地域の歴史に精通している方へのヒアリングを実行【次頁参照】	<ul style="list-style-type: none">河野北前船研究会右近恵会長や奥野々地区の藤木幸雄氏などへの接触を通し、街道など主に町内と隣接する諸地域とのつながりを把握
県担当者ヒアリング	<ul style="list-style-type: none">本プロジェクトを所管する県市町振興課担当職員との意見交換	<ul style="list-style-type: none">特に9月中旬以降はプロジェクト展開地域(河野)へ担当者の訪問にも複数回立ち会い、展開手法などについて現地にて議論を行った
関連史跡・地域訪問	<ul style="list-style-type: none">プロジェクト展開地域に所在する歴史的な史跡を訪問【次頁参照】	<ul style="list-style-type: none">杣山城跡、北前船主通り周辺、下長谷の洞窟への現地調査を行い、素案作成への参考とした
文献調査	<ul style="list-style-type: none">「福井県南條郡誌」や「河野村誌」などの郷土資料の閲覧	<ul style="list-style-type: none">素案に関係する地域について、参考になる情報を掘り起こすことに主眼を置いたが、町内における東西方向の歴史的な強い結びつきとなるものは見当たらなかった

①ふるさと創造プロジェクト素案策定(2/2)

◆[参考]



河野北前船主通り



藤木幸雄氏(奥野々)へヒアリング[平成25年5月21日]



杣山城跡(居館跡)訪問[平成25年5月9日]



県担当者とともにプロジェクト展開予定地域を見学
(写真は右近家離れ屋敷内部の様子)[平成25年9月19日]

②新観光ルート策定

◆新観光ルート策定

平成25年11月4日(月)に「ホノケ山トンネル」が新たに開通することを期に、トンネルを活用した町内周遊型の新観光ルートの策定を現在行っております。

平成25年11月26日(火)に行われた「南越前町モニター日帰りバスツアー」や商工会主管のワーキンググループなどの動きを通して、今年度末目標でルートを発表できるよう活動を行っております。

活動名	活動内容	活動成果・現況など
南越前町モニター日帰りバスツアー	<ul style="list-style-type: none"> 課の商工観光担当とともに今年の町内モニターツアーのコースを考案 当日はツアーへ全日程にわたり同行 	<ul style="list-style-type: none"> 今年はモニターが自由に散策できるよう、設定を組むようにした。 町内のおもてなし体制に改善の余地あり
南越前町観光ルート策定に係る調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> 商工会主管の事業であり、関係者間での議論や町内フィールドワークを通して観光資源の掘り起こした 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回(8月7日)、第2回(9月4日)のいずれにも川村参加。特に第2回のバスツアーを通して、現地ガイドの必要性について参加者間で共有した。
町内各飲食店・施設ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> 観光客との接点の多い町内の事業所へヒアリングし、現状並びに将来への展望などを把握 	<ul style="list-style-type: none"> 4,5月段階では南条・今庄を中心に訪問。今後は河野地区を重点的に行う。



「南越前町観光ルート策定に係る調査研究事業」
第2回ワーキンググループにて、ツアー後に参加者間で議論も行った。

町内飲食店訪問の例
(中華料理峰龍)

③情報発信活動(1/2)

◆情報発信活動(インターネット媒体)

以下の媒体を用い、協力隊の活動や町内イベントの報告、その他情報を町内外へ発信しました。



●協力隊ブログ「めちぜん通信」(<http://mechizen.blogspot.jp/>)
活動開始時より荒木隊員と交代で執筆、現在までに14件の記事(そのうち川村は6件)を投稿し、計4,140ページビューを得ている。
問題点:執筆の効果が目に見えず、どれほどの読者がいるのかが分かりづらい。記事へのコメントも極端に少なく、この媒体がどれだけ町内外へ認知されているのかも不明。
改善策として、いわゆる活動報告はfacebookへ一本化し、ブログの内容はコラム形式に絞るといった案などが考えられる。



●Facebookページ(<https://www.facebook.com/mechizen.kyoryokutai>)
荒木隊員と共有する形で、それぞれの活動を記事として投稿している。現在までに209名の定期購読者を得ている。ブログとは違い、記事ごとに関連者の数が表示される機能があり、コメントも多いため読者の反応を理解しやすいメリットがある。
問題点:個人アカウントとの使い分けが難しい。特に休日の出来事に関してどちらに投稿しようか迷った、ということが頻繁にあった。

③情報発信活動(2/2)

◆情報発信活動(紙媒体)

以下の媒体を用い、協力隊の活動や町内イベントの報告、その他情報を町内外へ発信しました。



●広報誌連載「めちぜんレポート」

ブログと同じ要領で執筆、そのうち川村は5,9,11月号の記事を執筆した。活動を行うなかで、住民から広報誌の連載記事について言及される場面がいくつもあったため、町内における協力隊の認知向上について最も寄与している媒体であると思われる。

問題点: 普段インターネットに接していない住民へ向けた媒体がこの連載とCATVくらいしかないので、住民からのフィードバックなどの収集とその整理を今後まとめなければならぬと思っている。



●「めちぜんかわらばん」

インターネットに接していない住民向けに、ブログなどの内容を紙媒体へ移したのがこの媒体である。町内の小中学校などへ配布し、関係者との顔合わせにもつながった。

問題点: 配布を始めてしばらくして、配布数があまりにも少ないことが発覚した。そのため、7月以降は制作そのものを中止している。

図1 各のつぶやき・今庄まぼりでは、「めちぜん地域おこし協力隊」の手を借りに参加しました。お祈りくださった皆さん、おそばをくださった皆さん、ありがとうございました。

④町内イベント参加

◆町内イベント参加

主催・規模問わず町内の様々なイベントや行事へ顔を出し、それぞれの地域の一面を体験した上で場合によってはFacebook等で紹介しました。



役場(産業振興課)主催イベント

ex.)はすまつり、河野夏まつり、レアコスプレ企画@西洋館など

成果: イベント実行支援およびfacebook等で情報発信

課題: 「協力隊」として準備段階から主体的に関与する必要性をこれまでに感じており、場合によってはイベント時にブースを出展することも検討したい。



各組織主体のイベント

ex.)ふれあい産業物産フェア[商工会]、街道浪漫・今庄宿[街道浪漫今庄宿2013実行委員会]、旧北陸線ウォーキング大会[今庄観光協会]など

成果: 参加およびイベントの様態を同様に情報発信

課題: 役場主体のイベントではないので、協力隊がどのようにしてイベント実行プロセスに関わることができるかが分からず、改善案を考えようにも伝えるのが難しいと感じている。



地域主体イベント

ex.)不動ヶ滝滝祭り、妙泰寺七福神祭り、荒目地藏祭り、八坂神社の獅子舞など

成果: イベントごとに違うが、特に南条地区に関しては区長さんと知り合う機会が何度かあった。また、同様に情報発信によって町外へ知ってもらえる機会をつくることができた。

課題: すべての行事を網羅できてはいない。また、全ての行事に準備段階から関わることも難しいと思う。まずは町にこんなイベントがあるのを町内外へ発信することに意義を置いて動きたい。

⑤その他個人活動等(1/2)

◆今庄宿プロジェクト

一住民として今庄宿プロジェクトへ参画、誘客部会の副会長として今庄宿周辺の活性化戦略を参加住民とともに議論いたしました。



住民とのワークショップ[全体会]

- 参加住民全員が参画する全体会では、今庄の現状や将来像などの課題にワークショップ形式で議論を行った。
- 成果・課題：ワークショップの手法について住民とともに体験し、今後の活動の参考となった。タイムマネジメントの難しさも実感したため、今後うまく進行できる手法を身につければと思う。



住民会議へ参加[誘客部会、拡大代表者会]

- 主に今庄宿の誘客戦略について住民とともに議論を進め、部会としての意思決定に深く関わった。
- 成果・課題：今庄宿周辺の観光資源になりそうなコンテンツの掘り出しを行った。住民が思う「今庄のいいところ」を中心に議論したが、ターゲットの洗い出しなどはまだ深めていく余地はある。



フィールド展開[まち歩き企画など]

- 会議のみならず、プロジェクトの関連企画にも参加し、今庄宿の現状について実感することとなった。
- 成果・課題：まち歩き企画(平成25年6月23日実施)において空き家・空地の状況を直接見ることで、今後のプロジェクト展開のイメージをつかむことができた。ただ、路地の細かい場所までを全て見たわけではないので、精査も必要である。

⑤その他個人活動等(2/2)

◆外部視察活動

業務として行った、町外における視察活動やセミナーを報告いたします。

活動名	日程・場所	視察・活動内容	活動成果・現況など
福井オープンデータ&ご当地アプリ開発プロジェクト・キックオフセミナー	平成25年5月10日 福井県産業情報センタービル	・福井県内でのオープンデータの概況や観光目的のスマートフォンアプリ開発についての講演	・はすまつり終了後に、この講演内容を受け各品種の情報をまとめて観光アプリ化しようと考えているが、需要や実現可能性の面で不透明である。
初任者向け地域おこし協力隊及び集落支援員を対象とした研修会	平成25年5月27～29日 全国市町村国際文化研修所(滋賀県)	・協力隊活動に関する先行事例の学習および参加者同士の交流	・全国各地から地域おこし協力隊が集まってきたため、それぞれの地域ごとの活動状況をオンライン、オフライン問わず知る端緒となった。
企画力をみがく講座 ～あなたのイメージをカタチにします～	平成25年5月31日 鯖江市文化の館	・講演者は「アートマネジメント」という手法で芸術活動のコンサルティングを行っている	・町内で新たな企画を実施する際、講演者の業務プロセスであるヒアリング→実施→フィードバックという手法が大いに参考になると思う。
食の國福井館、ふくい南青山291訪問	平成25年8月9日 東京都	・東京都内にある福井県のアンテナショップへ相次いで訪問	・南越前町関連の物産もいくつか陳列されていたものの、肝心の自治体名は全商品に一切記されていないかった。
全国「里の達人」サミット	平成25年9月11日 県立恐竜博物館(勝山市)	・里山里海利活用についての事例を学習	・里山里海保全の問題解決が地域資源の発掘につながるという確信を得ることができた。

→この他にも、プライベート目的で長野県小布施町や鯖江市で行われた「ペケーニョ サバエバル」などを訪問しました。

ただ、上半期は業務に直結するような外部視察をしようという目的意識は薄かったため、業務目的視察とプライベート目的視察の線引きをはっきりしなければならないという反省点が挙げられます。

⑥南越前町での9か月間を振り返って...

○「知らなかった」こと自体がデメリットである

私が「地域おこし協力隊」として南越前町に来る前、また来た直後も私には馴染みのない要素が多く(例:食、歴史、イベント等)、それらについて語るができない状態であった。「何もないような町」という旨の発言を来たばかりのときに聞いたが、当時私はその言葉に同意せざるを得なかったことを憶えている。

しかし、その後の私は住民の方々と接することを繰り返すごとに、知らなかったことを知り、またより深掘りするようになった。自然(紅葉や越前海岸等)や文化(街道や北前船にまつわる歴史等)について、私としては非常に「奥が深い」と思わせられる機会が多かった。

○外部と南越前町民とを繋ぐ「架け橋」へ

「奥が深い」と思ったことは即ち、町のポテンシャルの高さを意味している。しかし、現状その高さを活用し切れていないと思う。例えば、いつものように業務用テントが並ぶイベントの光景が思い浮かぶ。また、先の項でも述べたが、そもそも南越前町について知らないことが多かったというこれら私の感覚からも言えるのではないか。そして、その感覚は南越前町で培ってきたものではなく、今まで人生を東京で過ごしてきた結果として導かれた。おそらく、都市部から南越前町へ来る観光客も同じ感覚を持っていると考えている。

このように、観光客の視点と住民の視点双方を持つようになり、この両者をうまく繋げていく存在が我々協力隊なのではないだろうか。

(以上の文章は、荒木隊員とのこのことについてのワークショップの結果をもとに川村個人の見解を述べたものである。)

これからの活動予定

プロジェクト関連活動

フィールドワーク活動

外部視察・交流活動

情報発信活動

プロジェクト関連活動

◆ 会議体、イベント参加

活動名	担当	関連事業	想定作業
各種会議体参加	荒木 川村	今庄宿プロジェクト ふるさと創造プロジェクト	各部会に参加し、外部目線での意見・提案、ファシリテート支援を行う ※後述のフィールドワーク活動および外部視察・交流活動の成果は、会議体での意見・提案に反映する

◆ 住民活動支援

活動名	担当	テーマ	想定作業
住民主体活動支援	荒木	今庄宿プロジェクト	住民の要望に応じて、事業開始前25年度中に住民主体で実施する個別プロジェクトを支援する ※想定されるプロジェクト:酒蔵まつり(縮小版)、クラフトイベント、歴史調査 他

◆ 体制検討支援

活動名	担当	テーマ	想定作業
まちづくり組織に関する事前調査	荒木	今庄宿プロジェクト	26年度以降のまちづくり活動の主体となる組織づくりに向け、公開情報、ヒアリング等により情報を収集・整理する

フィールドワーク活動

◆「暮らし」に関するフィールドワーク

活動名	担当	関連事業	想定作業
産業調査	荒木	今庄宿プロジェクト 仕事づくり(伝統産業)	今庄宿内を中心として、町内の既存産業(農業、漁業、加工業等)を体験し、移住者の仕事化の実現性等を検証する ※検証予定: そば打ち、宿内菜園(クラインガルテン)、酒造り、雪かき 他
空き家調査	荒木	今庄宿プロジェクト 拠点づくり(空家再生)	今庄宿内を中心として、町内の空き家・空地資源について、既存のデータを参照し、住民の意思確認や周辺状況の把握、利活用の可能性等について検証する
住民活動調査	荒木	今庄宿プロジェクト 縁づくり(住民連携)	今庄宿内を中心として、町内の住民活動を洗い出し、ヒアリングや活動参加を通して住民との交流を深め、活動拡大や関係者同士の連携促進を行う

◆「観光」に関するフィールドワーク

活動名	担当	関連事業	想定作業
体験型観光コンテンツ調査	川村	ふるさと創造プロジェクト 新観光ルート策定	町内の既存の体験型観光コンテンツを視察・体験し、改善策の提示や新コンテンツの企画を実施する ※視察予定場所: 今庄そば道場、リトリートたくら、杣山城跡ハイキングコース、ホノケ山ハイキングコース、南越前ダイビングパーク、今庄サイクリングターミナル



※このうち既に、今庄そば道場でのそば打ち体験(11月24日)、杣山城跡ハイキングコース(11月23日)は調査済み。

外部視察・交流活動

◆ まちづくり事例視察

視察先	担当	関連事業	想定作業
長野県南信州	荒木	今庄宿プロジェクト 仕事づくり	住民活動の活発な地域における、行政の住民活動への関わり方、住民同士の協力体制等を視察し、町内の住民活動活性化を図る

◆ 観光地事例視察

視察先	担当	関連事業	想定作業
「北前船」関連地域	川村	ふるさと創造プロジェクト	「北前船」という観光資源を使ってまちづくりを行う先進地の見学やまちづくりのキーパーソンへのヒアリングを行うことにより、プロジェクトのゴールイメージを提示する
他自治体観光ルートモデルコース	川村	新観光ルート策定	他自治体が設定している観光ルートを体験し、町内観光ルート策定の検討に活用する

原則県内で設定されているモデルコースで、南越前町と似たような地域資源を巡るコースを中心に検証したい。例：大野市の寺町歩き、坂井市の松尾芭蕉コース、高浜町の文化財観光モデルコースなど
 写真は坂井市観光連盟HPに掲載されているモデルコースのリストを転載したもの

情報発信活動

◆ 協力隊活動に関する情報発信

活動名	担当	関連事業	想定作業
情報発信方法見直し	荒木川村	協力隊活動全般	既存の情報発信方法の目的と効果を見直し、効率的かつ効果的な情報発信方法を検討・提案する
新規情報発信方法試行	荒木川村	協力隊活動全般	各種調査結果から得られた町内資源

◆ 住民による情報発信支援

活動名	担当	関連事業	想定作業
住民による情報発信支援	荒木川村	情報発信活動	住民による主体的な情報発信方法を検討し、必要に応じて住民への助言・支援を行う

※この他、上期同様、状況の変化や機会発生に応じて、それぞれの移住促進および観光振興の使命に基づいた自発活動を展開します。